８インチ用
２ピースφ２７フロントフォーク＋ディスクブレーキキット　取扱説明書

（バーハンドル用　１７４mmピッチ／６０mmオフセット）

・この度は、弊社商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
　使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
　万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

商品番号：０６－０１－０２０４（フェンダー付）
　　：０６－０１－０２０５（フェンダー無）

適応車種及びフレーム番号
Ｍｏｎｋｅｙ／Ｇｏｒｉｌｌａ：Ｚ５０Ｊ－１３０００１７～
　　：ＡＢ２７－１０００００１～
Ｍｏｎｋｅｙ（ＦＩ）　：ＡＢ２７－１９０００００１～

～特　徴～

○フォークピッチ１７４mm、オフセット６０mm。
○オフセット６０mmにする事で、操安性を向上させました。
○トップブリッジ、ステムは上面バフ研磨、化学研磨＋シルバーアルマイト仕上げです。
○トップブリッジ、ステム裏面には軽量化の為、肉抜き加工を施しています。
○ハンドルホルダーを付属しています。
○付属のステムナットは硬質アルマイト仕上げです。
○ステアリングロックブラケットを付属しています。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎分解、取り付け作業はホンダサービスマニュアルモンキー用を必ず参照し確実に行って下さい。
◎当キットは８インチホイール専用です。
◎当キットにはヘッドライトステー、ウインカーステー、ステアリングハンドルは含まれていません。別途お買い求め下さい。
◎ヘッドライトステーは弊社アルミヘッドライトステー（０９－０３－００７、００８）及び（０９－０３－０７Ｓ）をご使用下さい。
◎ノーマルキャブ使用車はスロットルが使用出来ない為、取り付け出来ません。（別途、ご用意して頂く必要があります。）
◎当キット付属のフロントブレーキマスターシリンダーＡＳＳＹ.はオイル確認窓が無い仕様の為、ブレーキフルードの量はオイルカップ部の上限線で確認して下さい。

⚠注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・作業を行う際は、平坦で足場のしっかりした所を選び車両を安定させた状態で行って下さい。
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に行って下さい。（ネジ部の破損及び脱落の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して下さい。
・フォークトップボルトを取り外す際にフォークスプリングによりトップボルトが飛び出す危険性がありますので、十分注意して下さい。
・製品及びフレームにはエッジや突起がある場合があります。作業時は手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因になります。）
・ブレーキフルードはなるべく皮膚に触れないようにし、作業後は十分手洗いを行って下さい。（手荒れの原因になります。）
・ブレーキフルードは塗装面、樹脂部品、ゴム製品類等に付着すると劣化及び損傷させるので作業は十分注意して行って下さい。付着した場合は速やかに水洗いをして下さい。（部品の損傷、劣化の原因となります。）

⚠警告　この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

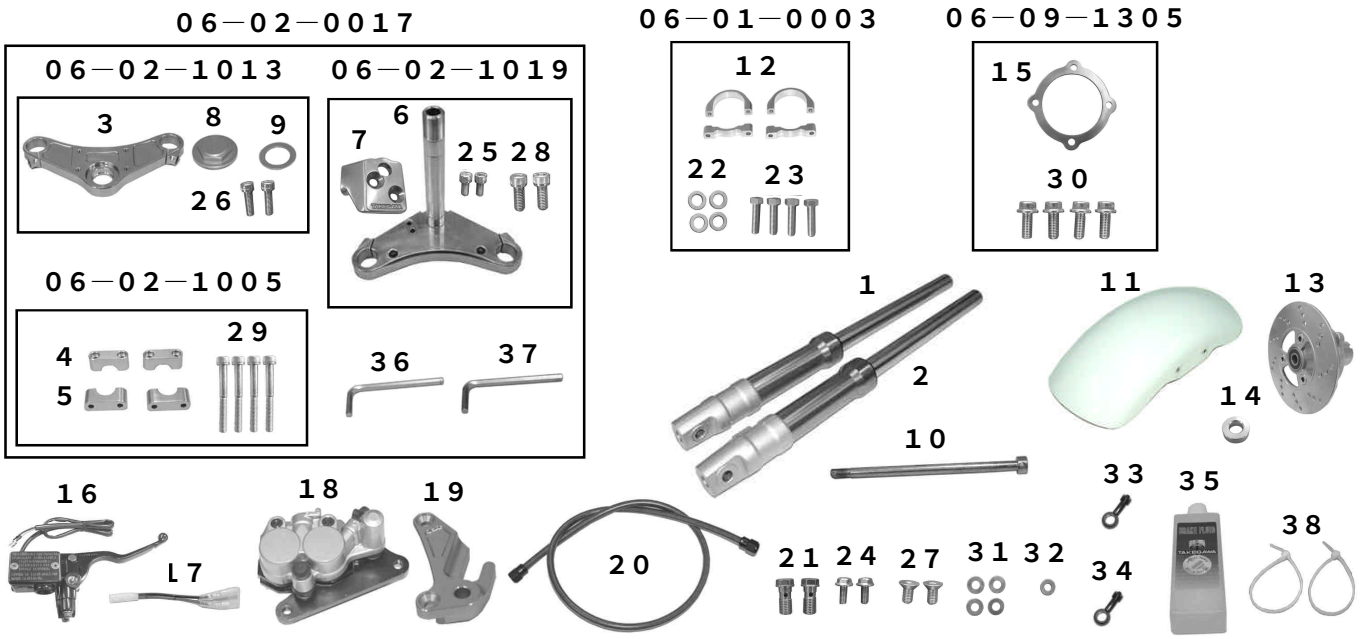
・技術、知識などが無い方は作業を行わないで下さい。（部品破損などの原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。）
・走行前には、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み等が無いかを確認して下さい。又、走行中異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常個所の点検を行って下さい。（そのまま走行すると事故につながる恐れがります。）
・走行前は必ず各部を点検し、ボルト、ナットの緩みやオイル漏れが無いかを確認して下さい。又、走行中に異常が発生したと思われる場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常個所の点検を行って下さい。異常が認められた場合は、絶対にそのまま走行しないで下さい。
・ブレーキフルードは指定のブレーキ液を使用して下さい。銘柄の異なるブレーキ液を混用しないで下さい。
　（トラブルの原因、化学変化の恐れがあります。）
・ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させないで下さい。付着した場合はブレーキパッドは交換しブレーキディスクローターは脱脂して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・ブレーキの取り付け作業については熟練したメカニックに依頼し、専用の設備、工具のある工場などで行って下さい。
　（事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

Jan./17/ 12

◎当製品を使用してフロントをディスクブレーキに変更するには、下記の弊社製品が必要です。
▷取り付けネジサイズ１０mmのミラー（各１個入り）
オーバルスライドタイプミラー　（０６－０１－１１０）
ＮＣ３１タイプミラー　（０６－０１－１１１）
角スライドタイプミラー　（０６－０１－１１２）
ＭＩＮＩミラー（右専用）　（０６－０１－１１３）
▷ミラーアダプター（２個入り）　（０６－０１－１００）
※純正ミラー及び取り付けネジサイズ８mmのミラー使用時のみ必要
◎フロントブレーキを油圧ディスクにした場合，フロントマスターシリンダーを取り付ける為、ＳＴＤスロットルハウジング（ブレーキレバー一体式）を取り外す必要がありますので、弊社製ハイスロットルセット若しくはホンダ純正部品が必要です。
▷弊社製品
ハイスロットルセット（ケーブル長８１０mm）（０９－０２－０２２１）
ハイスロットルセット（ケーブル長７００mm）（０９－０２－０２１）
※弊社製キャブレターキット用（ＫＥＩＨＩＮ　ＰＣ１８キャブレター以外）
▷ホンダ純正部品
スロットルハウジング（１個）　（５３１６８－１６６－０００）
スロットルハウジング（１個）　（５３１６７－ＧＥ４－０００）
パンスクリュー　５×２２（２個）（９３５００－０５０２２－０Ｇ）
※ＳＴＤキャブレター及び弊社製ＫＥＩＨＩＮ　ＰＣ１８キャブレター用
◎フレームＮＯ．Ｚ５０Ｊ－１３０００１７～１５１０４００の車両に当製品を取り付ける場合、別途下記部品が必要です。
▷遠心クラッチ車
コンビネーションスイッチＡＳＳＹ　（０２－０１－０１５）
▷マニュアルクラッチ車
クラッチレバー＆コンビネーションスイッチＡＳＳＹ　（０２－０１－０１６）

～商　品　内　容～



番号	部　品　名	個数	リペア品番	入数
１	L.フロントフォークＡＳＳＹ.	１	５１５０８－ＧＥＦ－Ｔ０１	１
２	R.フロントフォークＡＳＳＹ.	１	５１４０８－ＧＥＦ－Ｔ０１	１
３	フォークトップブリッジ	１	――――	＼
４	ハンドルアッパーホルダー	２	５４４１１－１６５－Ｔ００	１
５	ハンドルロワホルダー	２	５４４１２－１６５－Ｔ００	１
６	ステアリングステム	１	――――	＼
７	ステアリングロックブラケット	１	５３６０１－ＧＥＦ－Ｔ００	１
８	ステムナット	１	５４３０３－１６５－Ｔ００	１
９	ステムナットワッシャ	１	９０５０３－１６５－Ｔ００	１
１０	フロントアクスルシャフト	１	４４３０１－１２４－Ｔ００	１
＊１１	フロントフェンダー	１	６１１００－１８１－Ｔ００	１
＊１２	フロントフェンダーブラケット	２	６１１０２－１８１－Ｔ００	１
１３	フロントホイールハブＡＳＳＹ.	１	４４５００－１８１－Ｔ００	１
１４	カラー　7.5mm	１	４４３１０－１８１－Ｔ００	１
１５	ホイールスペーサー　３mm	１	４４６００－１８１－Ｔ１０	１
１６	フロントブレーキマスターシリンダーＡＳＳＹ.	１	０６－０８－１１６８	１
１７	サブコード	１	３７６００－ＫＣＺ－Ｔ００	１
１８	フロントキャリパーＡＳＳＹ.	１	０６－０８－１１５	１
１９	フロントキャリパーブラケット	１	４５２３１－１６５－Ｔ０２	１

番号	部　品　名	個数	リペア品番	入数
２０	ブレーキホース　７７５mm	１	０６－０８０－０００７	１
２１	バンジョーボルト	２	００－０７－０００７	１
＊２２	プレーンワッシャ　５mm	４	００－００－０１１８	１０
＊２３	６角ボルト　５×２０	４	００－００－０１１３	５
２４	フランジボルト　６×１５	２	００－００－０１１４	４
２５	ソケットキャップスクリュー　６×１２	２	００－００－０１１６	６
２６	ソケットキャップスクリュー　６×２０	２	００－００－００４３	１０
２７	フラットヘッドキャップスクリュー　８×１６	２	００－００－０２３９	４
２８	ソケットキャップスクリュー　８×２５	２	００－００－００７５	４
２９	ソケットキャップスクリュー　６×５０	４	００－００－００４４	３
３０	フランジキャップスクリュー　８×２０	４	００－００－０２３８	４
３１	シーリングワッシャ	４	００－０７－００１０	１０
３２	プレーンワッシャ　６mm	１	００－００－００８６	１０
３３	バンジョー（ストレート）	１	００－０７－０００６	１
３４	バンジョー（２５°）	１	００－０７－００３７	１
３５	ブレーキフルード（ＤＯＴ－４）	１	０６－０８－００１９	１
３６	６角棒レンチ　５mm	１	――――	＼
３７	６角棒レンチ　６mm	１	――――	＼
３８	タイラップ	２	００－００－０１７９	１０

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。
※０６－０１－０２０５には＊印は付属しません。

Jan./17/ 12　rev.May./02/ 13

～取　り　付　け　要　領～

分解

１．フロントのアクスルナットを緩めます。

２．リアメンテナンススタンドとエンジン下部に適当な台を置き、車両を安定させた状態で作業を行います。
※フロントタイヤが少し浮く程度の高さにします。

３．ヘッドライトのパンスクリューを外し、ストップランプスイッチ、ウインカースイッチの配線を外します。

４．スロットルハウジングのパンスクリューを外し、スロットルハウジング、スロットルパイプを取り外します。

５．ウインカースイッチのパンスクリューを外し、ウインカースイッチを取り外します。

６．ヘッドライトケースの左右のボルトを外し、ヘッドライトを取り外します。

７．ホーン、ウインカーを取り外します。

８．アクスルシャフトを抜き取り、フロントホイールを外します。

９．トップブリッジ裏面のハンドルロワーホルダーのナットを外し、ステアリングハンドルＡＳＳＹ.を取り外します。

１０．フォークボルト、ステムナット及びワッシャを外し、トップブリッジを取り外します。

１１．トップスレッドを外し、フォークＡＳＳＹ.を取り外します。
※ベアリングのボールを無くさないようにして下さい。

１２．ノーマルのステアリングステムからハンドルロックを取り外し、ステアリングロックブラケットに取り付けます。

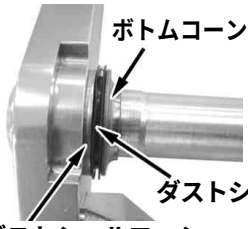
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝９Ｎ・ｍ
（０．９ｋｇｆ・ｍ）

組み付け

１３．ステアリングロックブラケットをソケットキャップスクリュー（６×１２）でステアリングステムに取り付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝１２Ｎ・ｍ
（１．２ｋｇｆ・ｍ）

１４．ステアリングステムのボトムコーンレースをポンチドライバーやタガネ等取り外し、ダストシール、ダストシールワッシャを取り外します。
ジュラルミンステムシャフトにダストシールワッシャ、ダストシール、ボトムコーンレースをそれぞれ取り付けます。

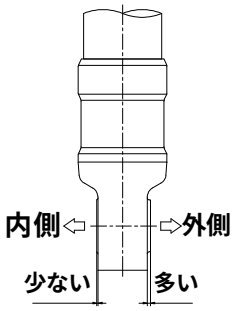


１５．トップコーンレース及びボトムコーンレースにグリスを塗布し、ベアリングをステアリングステム、ヘッドパイプに取り付け、トップコーンレースをヘッドパイプに取り付けます。
※ベアリングのボールが樹脂に組み込まれていないタイプの場合はボトムコーンレース、トップコーンレースにそれぞれ２１個ずつ取り付けて下さい。
ベアリングはグリスを塗る前に洗油で洗い、ゴミを付着させないで下さい。

１６．ステアリングステムをヘッドパイプに通し、トップスレッドは手でいっぱいに締め付けます。
左右に４、５回躍動させベアリングをなじませ、約１／８回転戻し、ガタが無く軽く動くことを確認して下さい。

１７．ステアリングステムにフロントフォークのアクスルホルダーにブレーキの回り止めが付いている方を進行方向に向かって右側に通し、ステアリングステム割り締めボルト（８×２０）を仮り締めします。

１８．左側も右側と同様に取り付けます。
※ボスの出が多い方を外側にして、組み付けて下さい。
※フロントフォーククランプタイプのヘッドライトステーを使用する場合は、ヘッドライトステーをフロントフォークに通して下さい。



１９．ワイヤーハーネス等の取り回しがノーマルと同じになるようにしながらトップブリッジをフロントフォークとステムシャフトに通し、ステムワッシャを入れてステムナットを指定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝５９Ｎ・ｍ
（６．０ｋｇｆ・ｍ）

２０．ステアリングステムの割り締めボルトを緩め、インナーチューブ突き出し量を３０mmになる様に調整します。
※フロントフォーク突き出し量の調整は片側づつ行い、左右同じ高さにして下さい。

２１．ステアリングステムの割り締めボルトを指定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝２６Ｎ・ｍ
（２．７ｋｇｆ・ｍ）

２２．トップブリッジの割り締めボルト（６×２０）を指定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝１２Ｎ・ｍ
（１．２ｋｇｆ・ｍ）

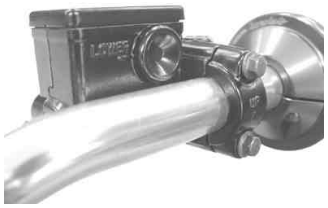
２３．ステアリングハンドルパイプを、ハンドルホルダーにセットし、トップブリッジに取り付けます。ハンドルホルダーのソケットキャップスクリュー（６×５０）を指定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝１２Ｎ・ｍ
（１.２ｋｇｆ・ｍ）

※ハンドルホルダーは前後の隙間が同じになる様に締め付けて下さい。

２４．マスターシリンダーＡＳＳＹ.、ウインカースイッチ（又はコンビネーションスイッチ）、左グリップをハンドルに取り付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ウインカースイッチ
：パンスクリュー
４Ｎ・ｍ（０.４ｋｇｆ・ｍ）
マスターシリンダー
ＡＳＳＹ.
：フランジボルト
１２Ｎ・ｍ
（１.２ｋｇｆ・ｍ）

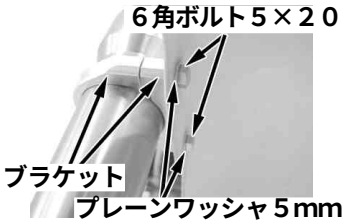


２５．ホーンを取り付けます。（写真はステアリングステムに取り付けた場合です。）

※ステアリングステムに取り付ける場合、写真の様にステーを折り曲げ、フランジボルト（６×１５）で取り付け、締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝１２Ｎ・ｍ
（１.２ｋｇｆ・ｍ）

２６．（０６－０１－０１５６）フロントフェンダー、ブラケットを写真のように６角ボルト（５×２０）で取り付け、仮締めします。



（０６－０１－０１５７）フロントフェンダー及びボルトをそのまま付け替えて下さい。

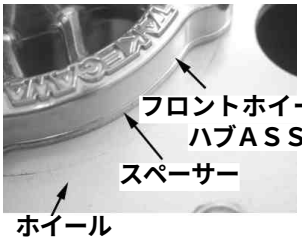
※ノーマルフロントフェンダーを使用し、ホーンをステアリングステムに取り付ける場合、フロントフェンダーとステアリングステムの間にホーンを挟み、もう片側はプレーンワッシャ（６mm）を挟むようにして取り付け、フランジボルト（６×１５）で締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝１２Ｎ・ｍ
（１.２ｋｇｆ・ｍ）

２７．フロントホイールのハブとホイールを固定しているナットを取り外し、ホイールとハブを分離します。

２８．弊社フロントホイールハブＡＳＳＹ.をエアバルブがディスクローターの反対側になるようにし、スペーサーをホイールとハブで挟むようにフランジキャップスクリュー（８×２０）でホイールに取り付け、仮締めします。

※弊社８インチアルミホイールを使用する場合、スペーサーは必要ありません。



２９．キャリパーをディスクローターに取り付けます。

３０．キャリパーをフラットヘッドキャップスクリュー（８×１６）でキャリパーブラケットに取り付け、締め付けます。

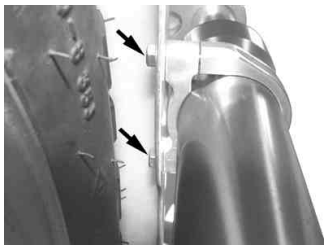
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝２５Ｎ・ｍ
（２.５ｋｇｆ・ｍ）

※ボルトのねじ部分にネジロック剤を塗布して下さい。

３１．キャリパーブラケットの凹みをフロントフォークの凸部に合わせ、付属のアクスルシャフトを進行方向に向かって右側からフロントフォーク、キャリパーブラケット、フロントホイールＡＳＳＹ.、メーターギア、カラー、フロントフォークの順になるように右側から通し、仮締めします。

３２．フロントフェンダーの高さを調節し、ブラケットのボルトを締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝５Ｎ・ｍ
（０.５ｋｇｆ・ｍ）



３３．ホイールとハブを固定するフランジキャップスクリューを締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝２５Ｎ・ｍ
（２.５ｋｇｆ・ｍ）

３４．バンジョーボルトにシーリングワッシャ、バンジョー（ストレート）、シーリングワッシャの順で通し、マスターシリンダーに取り付けて仮締めします。

３５．フロントキャリパー側はバンジョー（２５°）をマスターシリンダーと同様の方法で取り付けます。

３６．ブレーキホースを各バンジョーに取り付けます。
バンジョーの取り付け角度、ブレーキホースの取り回しが決まれば、バンジョーボルト、ブレーキホースのフィッティングを指定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
フィッティング
６N･m（０.６ｋｇｆ･m）

※ブレーキホースの取り回しは、ハンドル操作時やフロントフォーク作動時に無理のかからない状態になるように注意して行って下さい。

３７．ブレーキホースが他の部分と干渉しないようにタイラップで固定し、余った部分はニッパ等で切り取ります。
※バウンド、リバウンド時にホースが突っ張らないように固定して下さい。

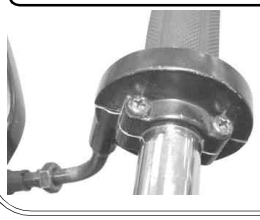
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト
１５N･m
（１.５ｋｇｆ･m）

３８．スロットルパイプをハンドルに取り付けます。

３９．ハイスロットルセットのロワスロットルハウジングにセットのスロットルケーブルを仮止めし、スロットルパイプに取り付けます。

４０．パンスクリューでアッパースロットルハウジングをロワスロットルハウジングに取り付け、パンスクリューで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝４N･m
（０.４ｋｇｆ･m）



４１．スロットルケーブルをノーマルと同様にキャブレターまで取り回し、キャブレターに取り付けます。
４２．スロットルケーブルの６角ナットを締め付けます。

４３．ヘッドライトケースをヘッドライトステーに取り付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝２５N･m
（２.５ｋｇｆ･m）

４４．ウインカーを取り付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝１２N･m
（１.２ｋｇｆ･m）

４５．ストップスイッチサブハーネス、ウインカースイッチ（コンビネーションスイッチ）の配線を接続します。
※Ｍｏｎｋｅｙ（ＦＩ）の場合ストップスイッチサブハーネスとサブコードを接続し、配線を接続します。
４６．ヘッドライトをヘッドライトケースに取り付け、パンスクリューで締め付けます。

４７．リアメンテナンススタンドと台から車両を下ろします。
４８．アクスルナットを締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝４０～５０N･m
（４.０～５.０ｋｇｆ･m）

４９．各部をもう一度指定トルクで増し締めします。
５０．ブレーキのエア抜きを行います。
※ブレーキのエア抜き要領は、別紙を参照して下さい。

フロントフォークオイルの交換要領

１．フォークトップボルトを緩めます。
２．フロントのアクスルナットを緩め、ナットのみを取り外します。
３．リアメンテナンススタンドとエンジン下部に適当な台を置き、車両を安定させた状態で作業を行います。
※フロントフォークがちょうど伸び切る程度の高さにすると作業がしやすくなります。
４．アクスルシャフトを抜き取り、フロントホイルを外します。
５．トップブリッジ、ステムの割り締めボルトを緩めフォークを取り外します。
６．トップボルトを飛び出さないよう注意して外します。オイルパンなどを用意し、フォークを逆さにしてスプリングを抜き取ります。
７．インナーチューブを伸縮させフォークオイルを抜き取ります。
（数分間インナーチューブを下側にし放置して下さい。）
８．フロントフォークを立て、フォークオイルを注入します。
フォークオイル　　：２０番
フォークオイル量　：６８ｃｃ（一本）
９．フォークスプリングに付着したオイルを拭き取り、ピッチの狭い方を底に向けスプリングを入れます。トップボルトを取付け、仮締めします。
１０．フロントフォークをステム、トップブリッジに取り付け、割り締めボルトを仮締めします。
１１．トップボルトを指定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝２０～２４N･m（２.０～２.５ｋｇｆ･m）

１２．ステアリングステム、トップブリッジの割り締めボルトを指定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ステアリングステム　２６N･m（２.７ｋｇｆ･m）
トップブリッジ　　１２N･m（１.２ｋｇｆ･m）

１３．フロントホイールを、外したときと逆の手順で取り付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
アクスルナット　６２N･m（６.３ｋｇｆ･m）

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
ＴＥＬ　０７２１－２５－１３５７
ＦＡＸ　０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７
ＵＲＬ　http://www.takegawa.co.jp

ブレーキのエア抜き要領

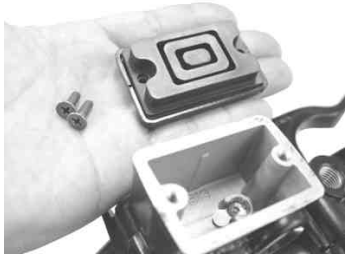
⚠ 注意

○ブレーキ液補給時にゴミや水を混入させない事。
○銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
○抜き取ったブレーキ液は再使用しない事。
○シーリングワッシャは再使用しない事。
○ブレーキ液は塗装、プラスチック、ゴム面を傷めるので部品類に付着させない事。
○ブレーキホースを外すなど油圧系統に空気が混入した場合は、油圧系統のエア抜きをする事。
○規定トルクは必ず守る事。
○ブレーキ液は必ず指定のブレーキ液を使用する事。

⚠ 警告

○ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一、付着した場合はパッドは交換し､ディスクローターは脱脂する事。
○損傷部品が見つかればその部品は必ず新品と交換する事。

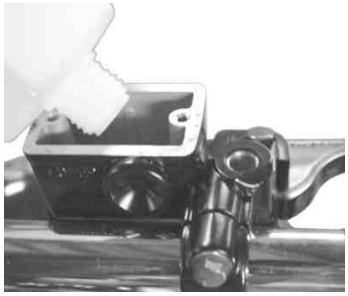
○マスターシリンダーＡＳＳＹ.の２本のフラットパンスクリューを外しマスターシリンダーキャップ、ダイヤフラムを外します。



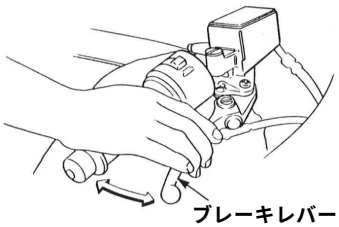
○キャリパーのブリーダーバルブに透明なブリーダーホースをつなぎホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にします。

○マスターシリンダーのオイルカップ部にブレーキ液を上限線まで補給します。

⚠ 注意：ゴミや水を混入させない事。
⚠ 注意：銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
ブレーキオイル　ＤＯＴ４.



○ブリーダーバルブを１／２回転緩め、ブレーキレバーを握る、放すを繰り返し、ブリーダーバルブからブレーキ液が充分出てくるまでこの操作を繰り返します。
☆オイルカップのブレーキ液量に注意し新しいブレーキ液を補充しながら作業を行って下さい。



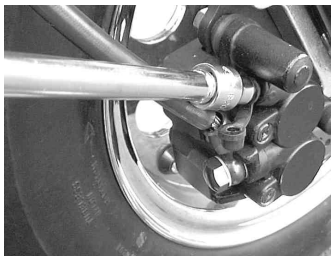
○ブレーキレバーを握った状態にしたままにしてキャリパーのブリーダーバルブを締め付けます。
○ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。

①ブレーキレバーを握ったまま、キャリパーのブリーダーバルブを１／２回転緩めた後、再び締め付けます。
②ブレーキレバーをゆっくり戻し､完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。

○ブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで①、②の操作を繰り返します。
☆時々、ブレーキ液量を確認し、下限線付近まで減少していれば補給します。

○エアの混入がなければブリーダーバルブを規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
Ｔ＝６Ｎ・ｍ
（０.６ｋｇｆ・ｍ）

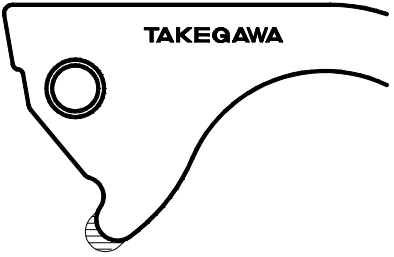


○オイルカップの上限線までブレーキ液を補充し、ダイヤフラム、マスターシリンダーキャップをフラットパンスクリューを用いて取り付けます。

⚠ 注意：ゴミや水を混入させない事。
⚠ 注意：銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
ブレーキオイル　ＤＯＴ４.

マスターシリンダーのご使用について

レバー交換等で一度マスターシリンダーよりレバーを外した際は、
レバー取り付け後にピストンとレバーの遊びが変わる場合があります。
その場合、レバーの斜線部分をヤスリ等で削って調整して下さい。



株式会社 SPECIAL PARTS 武川

Jan./21/ '13